

史料群番号 10

史料群名	たけのうら 竹浦漁業協同組合文書	旧所蔵者	竹浦漁業協同組合
探訪時住所	宮城県牡鹿郡女川町竹浦		
現在の住所	宮城県牡鹿郡女川町竹浦		
探訪年月	不明		
史料の年代	昭和7（1932）年～昭和21（1946）年	史料の総点数	11点
年代の内訳	近代 11点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

牡鹿郡竹浦の調査の詳細は明らかではない。宮城県本吉郡の調査は、昭和24年に水産庁によって行われ、その際「漁業制度資料調査保存事業」を主導した宇野脩平によって史料の探訪が行われていた（「熊谷節子家文書」の「収蔵にいたる経緯」参照）。あるいはこの時期に探訪されたものであろう。

史料群の概要

ノートが2冊ある他はすべて綴である。「鰹漁調書綴」「鰹船漁夫貸方帳」など鰹漁に関する書類綴り、あるいは「鮪縄配当貸方帳」など鮪網漁に関する綴りによって占められている。竹浦は女川（おながわ）湾の北岸に位置し、南には金華山（きんかさん）がある。三陸沿岸は、カナダの大西洋沿岸・ヨーロッパの北海とならんで世界の三大漁場を形成し、中でも金華山沖は好漁場として知られている。鰹・鮪などの大型魚の回遊も多く、古くから定置網漁や船を使っての網漁が行われていた。現在女川港は遠洋漁業の基地としても知られる。

